

2020年9月23日

各位

デンカ株式会社

ベルギーでノロウイルスワクチンの第 I 相臨床試験を開始

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山本 学）のグループ会社である Icon Genetics GmbH（本社：ドイツ ザクセン＝アンハルト州ハレ市、CEO：蛭田 和幸、以下「アイコン社」）はベルギーでノロウイルスワクチンの第 I 相臨床試験を開始しました。

本臨床試験はアイコン社で開発中のノロウイルスワクチンを健康な成人へ投与した際の安全性と免疫原性を評価することを目的としています。アイコン社はベルギーの保健当局に治験届を今年 2 月に提出しており、当局の承認のもと同国内のヘント大学病院ワクチンセンターで実施いたします。

現在、デンカグループではアイコン社を中心に同社の技術プラットフォーム「magnICON®(マグニコン)」(*)を用いてノロウイルスワクチンや検査試薬に使われる原料等の研究開発を進めています。研究開発の進展に伴い、研究開発・製造等の中核拠点を建設するため、アイコン社近傍のハレ市 Weinberg Campus (ヴァインベルク キャンパス) 技術団地に約 5 万 m²の用地を今年 3 月に取得しております。

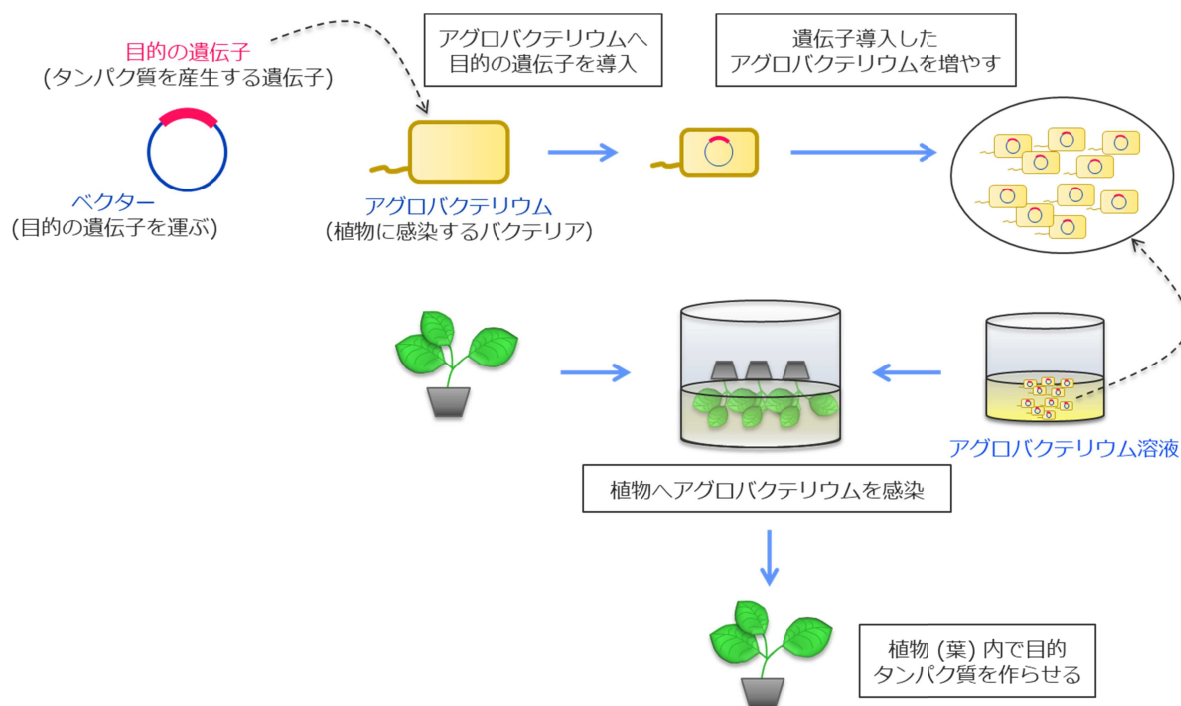
デンカグループは経営計画「Denka Value-Up」においてヘルスケア事業を重点 3 分野のひとつと位置づけ、感染症対策としてインフルエンザワクチンや新型コロナウイルスを含む各ウイルス抗原の迅速診断キット等の製品を供給しています。当社はアイコン社での研究開発を積極的に支援し、有効な予防法や治療方法が確立されていないノロウイルス感染症のワクチン開発を進め、人々の QOL 向上に貢献してまいります。

以上

(*)magnICON®

植物を利用した遺伝子組換え技術の一つ。目的の遺伝子を運ぶ役割のベクター(※)に、タンパク質を産生する遺伝子を挿入し、アグロバクテリウム(植物に感染するバクテリア)に導入します。このアグロバクテリウムを培養して増殖させ、栽培した植物をアグロバクテリウム溶液に浸漬・感染させた後、栽培して目的のタンパク質を産生します。magnICON®では、タンパク質を産生する遺伝子をベクターに取り入れることでタンパク質の産生能力を向上しています。

※ベクター:発現したい目的のタンパク質の遺伝子を宿主細胞に運ぶことができる入れ物のこと



※magnICON は、アイコン社の登録商標です。

【ご参考:本件に関連する過去プレスリリース(当社ホームページ)】

・2020年3月12日「ノロウイルスワクチンなどの研究開発を加速

～ドイツでの研究開発拠点用地の取得ならびに欧州での第I相臨床試験を申請～」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/704/20200312_denka_icon_norovirus_rd.pdf

【報道関係者からの問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部

電話：03-5290-5511